

# 綜研化学株式会社（東京都）

～ 知財に裏付けられた高品質ブランド ～

## 1. SOKEN Up the Value

綜研化学は、創業以来「技術を通して社会に貢献する」ことを第一に、独自の技術と開発力で、より良い製品づくりに取り組んできた。

平成17年度からは「SOKEN Up the Value」と題する中期経営計画を策定し、「エクセレントな存在感のある企業」への成長を目標に、粘着剤、微粉体、特殊機能材、粘着加工製品といった化学分野の中間材料製品の開発製造を行っており、国内外ともに売上げを飛躍的に伸ばしている。

中でも「SKデザイン」に代表される主力製品である粘着剤は、家庭で使用される両面テープや梱包テープ、小売店の値札ラベルや宅配便の配送ラベルなど身近なものから、自動車や家電製品の組立てや精密機器の部品固定に使用される工業用テープまで、様々な場面で使われている。使用する環境により、求められる性能は千差万別である。

例えば、携帯電話を購入した時、ディスプレイに貼ってある保護テープは簡単に、かつ跡が残らないように剥がれなくてはならない一方、自動車の組立て時に使用されるテープは様々な条件下でも剥がれないことが求められる。

粘着剤の新たな市場として注目されているのが、ディスプレイ用途だ。液晶ディスプレイやプラズマディスプレイは、何枚かのフィルムとガラス基板などを貼り合わせた多層構造になっており、これらの貼り合わせに粘着剤は必要不可欠である。このようなディスプレイ用粘着剤は透明で高度な耐久性が求められており、開発難易度が高い商品であったが、同社は早くからこの課題に取り組み、現在ディスプレイ用粘着剤市場でトップシェアを占めている。

## 2. 知財は特許グループが司る

本社は東京都にあるが、知財管理部門（特許グループ）は研究開発部門、生産部門とともに埼玉県狭山市の研究開発センターにある。社長の知財に対する関心度は高く、出願の稟議書は社長決裁となっている。また、同社の研究開発費に対する知財管理費の割合は高い。

研究開発部門から発明提案があると、特許グループで特許性調査を実施し、開発者を交えた検討の後、特許性の低いもの、ノウハウ管理するものを除き出願する。ノウハウとして秘匿した方がよいと判断した場合は、公証制度を利用して確定日付を取得している。保有特許の実施率は約80%と高い。

特許グループでは、権利侵害、模倣品に対する情報収集を常時行うとともに、他社特許の分析にも力を注いでいる。

同社は、グループ全体で効率的な連携を図り、アジアを軸足としてアメリカにも進出し、競争力の高いビジネスを展開している。これらの国々には基本特許を中心に

PCT出願を行っている。まだ外国出願比率は高くないが、今後のビジネスの発展にあわせ拠点を拡大・強化していく予定であり、それに伴って外国出願の比率も高まるだろう。

### 【保有権利に基づく製品例】



粘着剤製品



新研究棟

### <会社概要>

名称及び代表者名	綜研化学株式会社 代表取締役社長 中島 幹
本社所在地	東京都豊島区高田3-29-5
創業	1948（昭和23）年
資本金	3,361百万円
従業員数	192名（単体）
主要製品	工業テープ用粘着剤、光学フィルム用粘着剤、光学用微粉体、化粧品用微粉体、樹脂用改質剤、特殊可塑剤、電子材料用機能性樹脂
電話	03-3983-3171
URL	http://www.soken-ce.co.jp